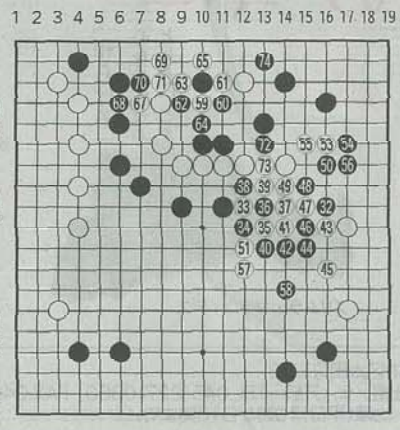
●五段　鳥居颯一郎（20、神奈川大学）
（2子）
○七段　泉並　健一
（70、杉田囲碁クラブ）

第2譜（32～74）



いそご芸術文化祭 囲碁大会

黒52（33）、黒66（59）包囲したが

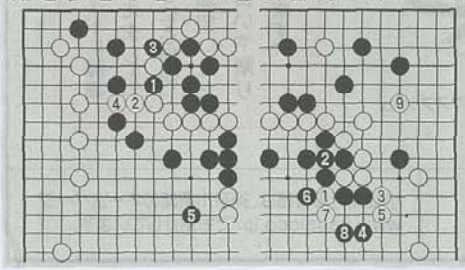
本局。黒32肩ツキ（再掲）は、攻めようとする白一団と右辺の白を分断しようという意図。白は33ツケから1子を切断しにいった。

佐々木農解説者は「黒32を打つなら39ノゾキを打ってから。白33、35が手筋で黒の対応が悩ましい」と指摘。

続いて黒は40アテを打つが、ここは53あたりもいい。以下黒らと下辺で戦有力だったか。

「黒42、白43に黒44ノビがよい手。白43では参考図㊁の1と根元を切り、白9まで黒1子をのみ込みたい」

実戦は黒58まで、黒は目いっぱいの頑張りで白を包囲した。しかし「この白一団を取ることは難しいので、少なくとも黒66では参考図㊀の1と打ってみた



（関塚眞司）